

第22回 深川北スポーツセンター 小学生スーパードッジボール大会 大会概要

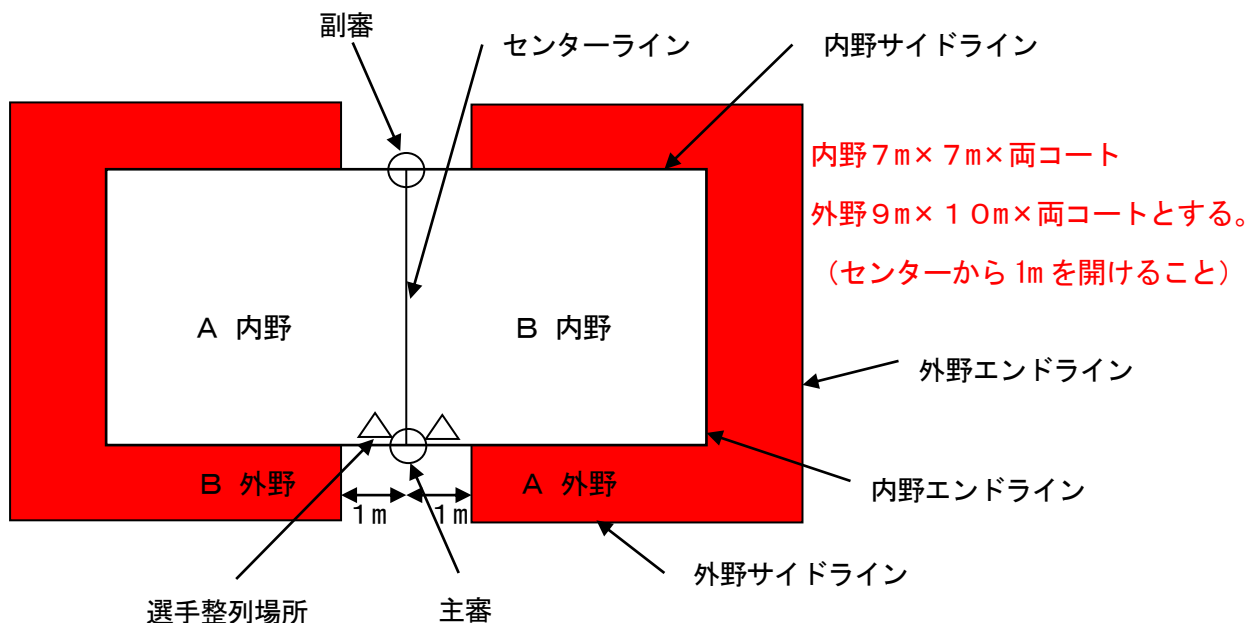
- 【開催日時】** 令和5年11月5日（日）
午前の部（3・4年生）
受付 8：30～ 8：45 開会式 9：00 試合開始 9：30（予定）
午後の部（5・6年生）
受付 13：15～13：30 試合開始 13：45（予定）
- 【会場】** 深川北スポーツセンター 1階 体育室
- 【主催】** 公益財団法人 江東区健康スポーツ公社 深川北スポーツセンター
- 【後援】** 江東区・江東区教育委員会・江東区体育協会
- 【協力】** 江東区スポーツ推進委員会・江東区立小学校 PTA 連合会
- 【協賛】** 株式会社モルテン・株式会社ユカ
- 【対象】** 深川小、八名川小、川南小、扇橋小、元加賀小、毛利小、東川小の児童3年生から6年生
- 【チーム】** 同学校・同学年で8人以上15人以下の男女混合チーム
- 【大会形式】** 学年ごとに予選リーグ戦を行い、上位チームによる「決勝トーナメントまたはリーグ戦」にて順位を決定します。
※決勝トーナメントでは3位決定戦も行ないます。
- 【試合内容】** 1. 競技は、前半4分・ハーフタイム1分・後半4分で行います。
（1試合の所要時間 入退場を含め13分）
2. 試合は、別紙進行表に沿って行います。
※ 組み合わせは、事前に事務局で行いました。
- 【表彰】** 表彰は、決勝リーグ・決勝トーナメントに進出したチームが対象です。
※ 決勝に進出しないチームは、試合終了後自由解散となります。
引率者カード、入場許可証を大会本部に返却してからお帰りください。
大会本部は体育室内（選手入場口を入れて右手）となります。

【競技規則】

● 第1章 競技場および用具

第1条 競技場（コート）

1. 内野の大きさ 7m×14m
2. 外野の広さ サイドは、1.5mとする。
エンドは、3mとする。
3. 線の幅 5cmとし、上記の長さは線の中心から中心までの距離とする。



第2条 用具

1. 試合球は日本ドッジボール協会公認3号球（公式試合球）を使用する。

※昨年度使用のボールと異なります。（今年度規格 molten ドッジボール 軽量3号検定球 D3C5000-L）



<今大会使用球イメージ>

2. ユニホームは、同一チームであることが識別できる服装とし、ゲームベスト（番号入り）を着用する。
なお、上履きは各自必ずお持ちください。（ゲームベストは、大会本部で用意する。）

● 第2章 チーム編成

第3条 競技チーム

1. チームは、同学校、同学年の競技者8名以上15名以下の男女混合で編成し、必ず各試合に登録メンバー全員を出場させることとする。また、試合（前半・後半）には、必ず1名以上の女子を参加させること。
2. メンバーの編成は、予選会受付時までに登録したメンバーのみとし、最終登録確認締切日までに6名揃わない場合は辞退となる。その場合は、予選会3位のチーム（辞退の場合は4位チーム）を繰り上げ出場とする。3位・4位チームとも辞退の場合、それ以下の出場は認めない。
3. 競技のスタートメンバーは8名（内野5名・外野3名）とする。
4. 競技開始時に5名以下のチームまたは、女子のいないチームは失格となる。

5. 競技者のうち1名をキャプテンとし、キャプテンはキャプテンマーク（センターで用意するリストバンド）を着ける。

● 第3章 競技方法

第4条 競技方法

1. 競技開始

- (1) 競技は、チーム対抗形式で、1チーム8名の競技者がコートの中に入って行う。
- (2) 両チームは、センターラインをはさんで並び、挨拶を行う。
- (3) 競技は、主審の「ゴーファイト」の宣言で開始される。

2. 競技時間および競技終了

- (1) 競技時間は、前半4分・ハーフタイム1分・後半4分とする。
- (2) 競技時間内であっても、一方のチーム全員がヒットされた時は、ノックアウトになり競技終了となる。
- (3) 主審が特別に時間を止めない限り、どんな時でも競技時間は進行している。
- (4) 主審の「ゲームセット」の宣言で競技は終了する。

3. 競技

- (1) センターラインでのジャンプボールによって、試合は開始される。その際、ジャンパーへの第1球攻撃は行ってはならない。（ジャンパーズアタックの禁止）
- (2) ジャンパーは内野の競技者がつとめ、自分のコートで行い、自分の内野へトスする。
- (3) ジャンパーはジャンパー以外の競技者がボールに触れる前にボールを捕球してはならない。（ジャンパーズキャッチの禁止）
- (4) 競技の目的は、相手チームの競技者を全員ヒットすることにある。
- (5) ヒットとは、相手チームの内野にノーバウンドのボールを当てそのボールが地に着くまでに相手の内野の誰もが捕球できない状態をいう。
- (6) 複数の内野に当たったり、触れたりしたボールを捕球できなかった場合は、そのボールに当たり触れた内野全員がヒットされたこととなる。
- (7) 捕球とは、一時的ではなく、完全にボールをキャッチし、コントロールしている状態をいう。
- (8) ヒットされた内野は、速やかにゲームベストを脱いで外野へ行かなくてはならない。その際、外野に出るまでにボールに触れてはならない。（ダブルタッチの禁止）
- (9) 競技者がヒットされた場合、ゲームベストを着けている元外野の競技者は速やかに内野に入らなければならない。なお、この内野に移動中の競技者にヒットしてはならない。
- (10) 味方同士のパス回しは20秒以内とする。20秒を超えるパス回しはオーバータイムの反則となる。
- (11) ラインクロスとラインオーバーは、いずれもラインアウトの反則となる。なお、ラインクロスとラインオーバーは、一連の投球動作が終了するまでとする。
- (12) 両外野エリアより外に出てしまったボールは、最後にボールに触れた競技者の相手チームの内野ボールとなる。
- (13) メンバー交代は、ハーフタイムにのみ行うことができる。ただし、けが等により主審が認めたときは、途中交代もできる。
- (14) 危険防止のため、首から上に投げられたボール（パスボールは除く）はヒットにならない。（ヘッドアタックの禁止）なお、ヘッドアタックの反則は、主審の判断による。
- (15) ボールを捕球してから5秒以内に投げなければいけない。5秒を超えるボール保持は、オーバータイムの反則となる。
- (16) ボールデッドは、ボールがコート外の床についた時点とする。

4. 反則

- (1) オーバータイムを宣告されると相手内野ボールとなる。
- (2) ラインアウトを宣告されると相手内野ボールとなる。
- (3) ダブルタッチを宣告されると相手内野ボールとなる。
- (4) ヘッドアタックを宣告されるとヒットされた競技者はセーフになり、そのチームの内野ボールなる。
- (5) ジャンパーズアタック・ジャンパーズキャッチを宣告されると相手内野ボールとなる。
- (6) 故意のキックやヘディングなどによるプレーは、相手内野ボールとなる。
- (7) スポーツマンシップに反する行為は、相手内野ボールとなる。

5. 注意

- (1) 競技者とキャプテンは、競技マナーに反する行為があったときは、注意を受けることがある。
- (2) 競技者が、軍手の着用や過剰なテーピング等、ボールを投げたり捕ったりする時に有利になることを行うことは認めない。

● 第4章 勝敗の決定

第5条 勝敗の決定

1. ゲームの勝敗

- (1) 前・後半ごとの試合時間内に、相手選手を全員ヒットしたとき。
- (2) 前・後半ごとの試合終了時に、ゲームベストを着用している選手を数え、ゲームベストを着用している選手が多いチームが勝ち。(前・後半のゲームベストのトータルで勝ち負けを決定。前・後半ごとの勝敗は関係しない。)

2. 予選・決勝の勝敗

- (1) リーグ戦の順位は、1. 勝ち点(勝ち3点、引き分け1点、負け0点)、2. 得失点差、3. 当該チームの直接対戦の結果で決定する。1～3でも勝敗が決定しない場合は、3分間のみの決定戦を行い勝ったチームが上位となる。さらに、3チーム以上の場合は、以下のとおりとする。
 - ① 当該リーグ全試合の相手チームの残りベスト数の合計が少ないチームが上位となる。(相手をヒットした数が多いチームが上位となる。)
 - ② 上記①も同数の時は、当該リーグ全試合の自チームの残りベスト数の合計が多いチームが上位となる。
 - ③ 上記①・②の方法でも勝敗がつかない場合は、総当たりで3分間の決定戦を行う。
3分間のみの決定戦でもベスト数が同じ場合は、決定戦終了時のまま試合を継続し、先に相手をヒットしたチームを勝ちとする。(サドンデス式)

なお、決定戦のゲームスタート時メンバーは、女子1名以上を含みチーム内で再編成してもよい。

- (2) 対戦しないチームが出るリーグ戦の順位は、勝ち点(勝ち3点、引き分け1点、負け0点)で決定し、勝ち点が同数の場合は、当該チームの直接対戦の結果で決定する。なお、決勝進出チーム決定において、勝ち点が同数で直接対戦していないチームがあった場合、または、直接対戦が引き分けとなった場合においては、3分間のみの決定戦を行い勝ったチームが上位となる。

3分間のみの決定戦でもベスト数が同じ場合は、決定戦終了時のまま試合を継続し、先に相手をヒットしたチームを勝ちとする。(サドンデス式)

なお、決定戦のゲームスタート時メンバーは、女子1名以上を含みチーム内で再編成してもよい。

- (3) トーナメント戦で、前・後半のゲームベストが同数で引き分けの場合、3分間のみの延長戦を行う。

3分間の延長戦でもベスト数が同じ場合、延長戦終了時のままゲームを継続し、先に相手をヒットしたチームを勝ちとする。(サドンデス式)

なお、延長戦のゲームスタート時メンバーは、女子1名以上を含みチーム内で再編成してもよい。

● 第5章 審判員

第6条 審判の任務と権限

1. 審判員

- (1) 審判員は、主審1名・副審1名とする。コート係を置くことができる。
- (2) 審判員は、中立公平を旨として、それぞれ協力して試合の充実に努めなければならない。
- (3) 審判員は、試合進行について、事故のないように努めること。
- (4) 主審の立つ位置は、センターラインと内野サイドラインの交わる場所とする。副審も主審と反対側の同じくセンターラインと内野サイドラインの交わる場所とする。

2. 主審の任務と権限

- (1) 主審は、競技の進行と判定を行うため、ホイッスルを所持する。
- (2) 主審は、副審やコート係の補佐を受けながら、下記の任務を遂行する。
 - ① 正しく競技者が出場しているか確認する。
 - ② 「ゴーフアイト」「ゲームセット」の宣告をする。
 - ③ ジャンプボールを上げる。
 - ④ 「ヒット」を判定し、競技者に宣告する。
 - ⑤ 「相手ボール」を判定し、宣告する。
 - ⑥ 「反則」を判定し、宣告する。
 - ⑦ 「注意」を宣告する。
 - ⑧ 勝敗の判定を行い、宣告する。
 - ⑨ ブラインドプレーや判定に確信が持てないときなどには、副審に確認をしたうえで判定する。
 - ⑩ ヘッドアタックや怪我につながるプレーがあった場合は、ゲームを一時中断し、競技者の安全を確認する。
 - ⑪ 主審は、規則に明示されていないあらゆる問題に関して、判定を下す権限を持つ。

3. 副審の任務と権限

- (1) 副審は、危険防止など特別の理由があるとき以外には競技を止めてはならない。
- (2) 副審は、ホイッスルを所持し主審を補佐しながら、下記の任務を遂行する。
 - ① ストップウォッチを所持し、オーバータイムや一時中断した時の時間の管理を行い、主審に伝える。
 - ② すべてのラインアウトを判定し、ホイッスルと動作によって主審に伝える。
- (3) 競技の進行や判定について、主審の求めに応じ助言する。
- (4) 主審に事故があるときは、これに代わる。

4. コート係の任務

- (1) 試合をスムーズに進められるように主審・副審を補佐する。
- (2) ビブス係
ビブス係は、ヒットを宣告された競技者のビブスの脱ぎ忘れの確認と、元外野が速やかに内野に入るよう誘導する。
- (3) 外野係
外野係は、ボールの管理とビブス係の任務を兼任する。

● 第6章 競技の没収

第7条 競技の没収

1. 遅刻

指定場所へ指定時間までに集合しないチームに対しては、そのゲームを没収し相手チームの16対0の勝利とする。

2. 競技拒否

主審が競技を行うようチームに命じたにもかかわらず、これを拒んだときは、その競技を没収し、相手チームの16対0の勝利とする。

3. 不正出場

主審は、正当でない競技者が入っていると認めたとき、その競技を没収し、相手チームの16対0の勝利とする。

【チーム引率者への注意事項】

<重要事項>

- ◆ 駐車場の駐車可能台数には限りがあります。なるべく公共の交通機関をご利用ください。
- ◆ 駐輪場の駐輪可能スペースに限りがございます。近隣マンションや道路、歩道への駐輪はご遠慮ください。
※駐輪ができず受付時間、試合時間に間に合わない場合、当センターは一切責任を負いません。お気をつけください。
- ◆ 各学校別荷物置き場に、各チームのゲームベストを15枚用意しています。使用しないゲームベストは、試合前に1階体育室入口前設置の専用ボックスにご返却ください。
例) 12名での登録チームの場合13番～15番のゲームベストを返却
- ◆ 食事をされる方は1階の談話コーナーにてお願いします。

<大会の流れと連絡事項について>

- ① 受付は、必ずチーム引率者が行ってください。受付時に当日出場選手のエントリー確認を行い、変更も受け付けません。同封の「第22回深川北スポーツセンター小学生スーパードッジボール大会当日受付証」をご提出ください。なお、登録していない選手は試合に出られません。
第1試合開始時に最終確定といたしますので、登録選手は遅刻をしないようにしてください(第1試合開始時に間に合わなかった選手は出場できません)。
※ 今大会の優勝、準優勝チームは、令和6年2月18日(日)にスポーツ会館で開催されるKOT Oチャンピオンズリーグに出場することができます。チャンピオンズリーグへの出場は、深川北スポーツセンター小学生スーパードッジボール大会登録選手のみとなります。けがや病気等により深川北の大会を欠席する場合でも、受付時のメンバー確認の際、欠席する選手をメンバー表から外さないようにしてください。
- ② 選手の控え場所(学校ごとに指定)は、2階観覧席となります。選手は、選手控え場所に荷物を置き、1階体育室へ入場開始のアナウンスがあるまで、選手控え場所で待機してください。
体育室入場の際、第1試合目と第2試合目のチームの選手は、そのまま試合が行えるよう試合の準備(水筒等を持参)して1階体育室へ降りてきてください。
なお、午後の部は、受付後に指定の場所(2階多目的室または1階研修室)へ移動してください。午前の部が終了するまで体育室へは入れません。
- ③ 体育室内に2箇所階段がありますが、「選手の上り専用階段」といたします。(同封資料「会場案内図」参照)選手招集の際はアナウンスをいたしますが、進行表に従い、次の試合の選手を1階体育室の招集場所に試合開始5分前までに集合させてください。試合時間、試合コートの確認はチーム引率者が必ず行ってください。また、当日のチーム参加数や試合の進行状況等により、進行表の時刻が前後することがありますので、必ず当日の対戦表と進行表の確認をお願いします。引率者は進行状況を確認し、選手を誘導してください。競技開始時に、5名以下のチームまたは、女子のいないチームは失格となります。
- ④ 試合が終了した選手は、体育室内階段の退場口から退出し、2階選手控え場所にお戻りください。
- ⑤ コートに入場できる引率者(保護者)は、「ベンチ入り許可証」をお持ちの2名と「広報用許可証」をお持ちの1名のみです。小さなお子様を連れてのベンチ入りは危険防止のため控えてください。体育館に入場される方は、全員室内履きをご用意ください。それ以外の保護者の方々は全て2階となります。
- ⑥ 審判と話が出来るのはベンチに入っている引率者のみとなります。他の方の判定に対する抗議や審判への抗議は認めません。試合後の抗議等は必ず引率者が大会本部に来て行ってください。

- ⑦ 行き過ぎた応援や特定の選手、審判に対しての暴言等は禁止します。観覧席から指示を出すことも禁止致します。また、大会役員より注意を受ける場合もあります。応援マナーの向上にご協力ください。
- ⑧ 試合は、学年別チーム別で行います。若干の待ち時間がありますので、試合待ちのチームは、他の学校の控え場所に移動したりせず、自分の学校の選手控え場所にて待機させてください。
- ⑨ 当日は見学者も含め全員室内履きをご用意ください。また、荷物の管理は各チームでお願いします。盗難防止のためにも、貴重品の持ち込みはご遠慮ください。紛失・盗難等が起きた場合、当会社は一切の責任は負いません。
- ⑩ 施設内にはプールやトレーニング室等の利用者がいらっしゃいます。ロビーや通路での準備体操及びウォーミングアップ等は禁止します。また、ボールを使ったウォーミングアップは出来ませんので、ボールは持ってこないでください。屋外でのウォーミングアップ等も禁止です。
- ⑪ 試合では、前・後半同じ番号のゲームベストを着用してください。なお、試合の前半に出場する選手は、ゲームベストの番号1～8を着用してください。また、試合開始前にあらかじめ前半に出場する選手、後半に出場する選手、ジャンプボール1名及び外野3名を決めておいてください。(ヒットされ、脱いだベストは自分でカゴに入れること。)
- ⑫ 予選リーグ試合終了後、決勝トーナメントに進出できないチームは自由解散となります。なお、全試合終了後、引率者カードと使用したゲームベストを3階大会本部へご返却ください。
- ⑬ 各学年決勝に進出したチームは、表彰がありますので、試合が終了しても帰らずに、必ず表彰式に出席してください。
- ⑭ 館内にゴミ箱は設置していません。各自で出されたゴミは、必ずお持ち帰りください。引率者および保護者の皆様のご協力をお願いします。
- ⑮ 大会当日、職員及び事業関係者により、写真・ビデオ撮影を行う場合があります。撮影したものに関しては、広報活動、ホームページ等にて使用する場合があります。ご了承願います。なお、写真掲載の可否については、参加申込書に予選会での可否が入力されていますので、変更があれば訂正してください。
- ⑯ 試合中のフラッシュ撮影は、選手のプレーの妨げになりますので禁止とさせていただきます。また、撮影した写真・動画等は個人で楽しむものとし、SNS等インターネット上には投稿しないでください。
- ⑰ 試合中のメガネ着用につきましては、ケガ・破損等も予想されますので、各自安全には十分注意をして参加させてください。主催者といたしましては、スポーツ専用メガネの着用を推奨いたします。
- ⑱ 女子選手1名のみでの登録で、女子選手が試合中にケガをした際の競技判断について
女子が1名で、男子の控え選手がいたとしても当該選手がケガで退場した場合は、男子の補充はせず7名で試合を続行します。また、前半にケガで退場し後半復帰ができない場合においても、男子の補充はせず7名で試合を行います。この場合チームの失格とはせず、勝敗は通常のカウントをします。
- ⑳ 次の試合(ケガをした後の試合)に女子が出場できない場合について
a) 競技規則 第3条の4にあるように「失格」となります。
b) その場合の点数について、第7条の1から3と同様に相手チームの16対0の勝利となります。
c) 大会当日に体調不良などで6名になった出場チームで、男子がケガをした場合も同様の対応(当該試合のみ)となります。⇒次の試合 5名以下「失格」となります。
d) 主審による裁定後、両チーム引率者の了承により、親睦試合として試合を行うことができます。

②1 髪止め（ピン止め）について

安全のため、滑り止め付きのパッチンピン等（材質シリコンも可）を使用してください。なお、ご不明な点等ございましたら担当者へ問い合わせください。

《スムーズな大会運営へ皆様のご理解とご協力をお願いいたします。》

深川北スポーツセンター
電話：3820-8730
担当：山田・大木